

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年08月22日

計画の名称	坂出市における防災・減災対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　（５年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	坂出市													
計画の目標	南海トラフ地震又はその他の大規模地震が想定されている地域における津波等による背後地の浸水面積の低減													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		780	A	780	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	護岸等の整備を実施し、津波等による背後地の浸水想定面積を235ha（R3年度）から0ha（R7年度）に減少させる。 津波等による背後地の浸水想定面積の低減 （背後地浸水想定面積）＝（整備地区における津波等による浸水想定面積）－（護岸等の整備により防護が完了した面積）	235ha	104ha	0ha

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	一般	坂出市	直接	坂出市	高潮	港湾	坂出地区海岸津波等対策 整備事業	護岸等 185m	坂出市	■	■	■	■		100		策定済	
	A09-002	海岸	一般	坂出市	直接	坂出市	高潮	港湾	西ふ頭・西運河地区海岸 津波等対策整備事業	護岸等 609m	坂出市		■	■	■	■	680	2.2	策定済	
											小計							780		
											合計							780		

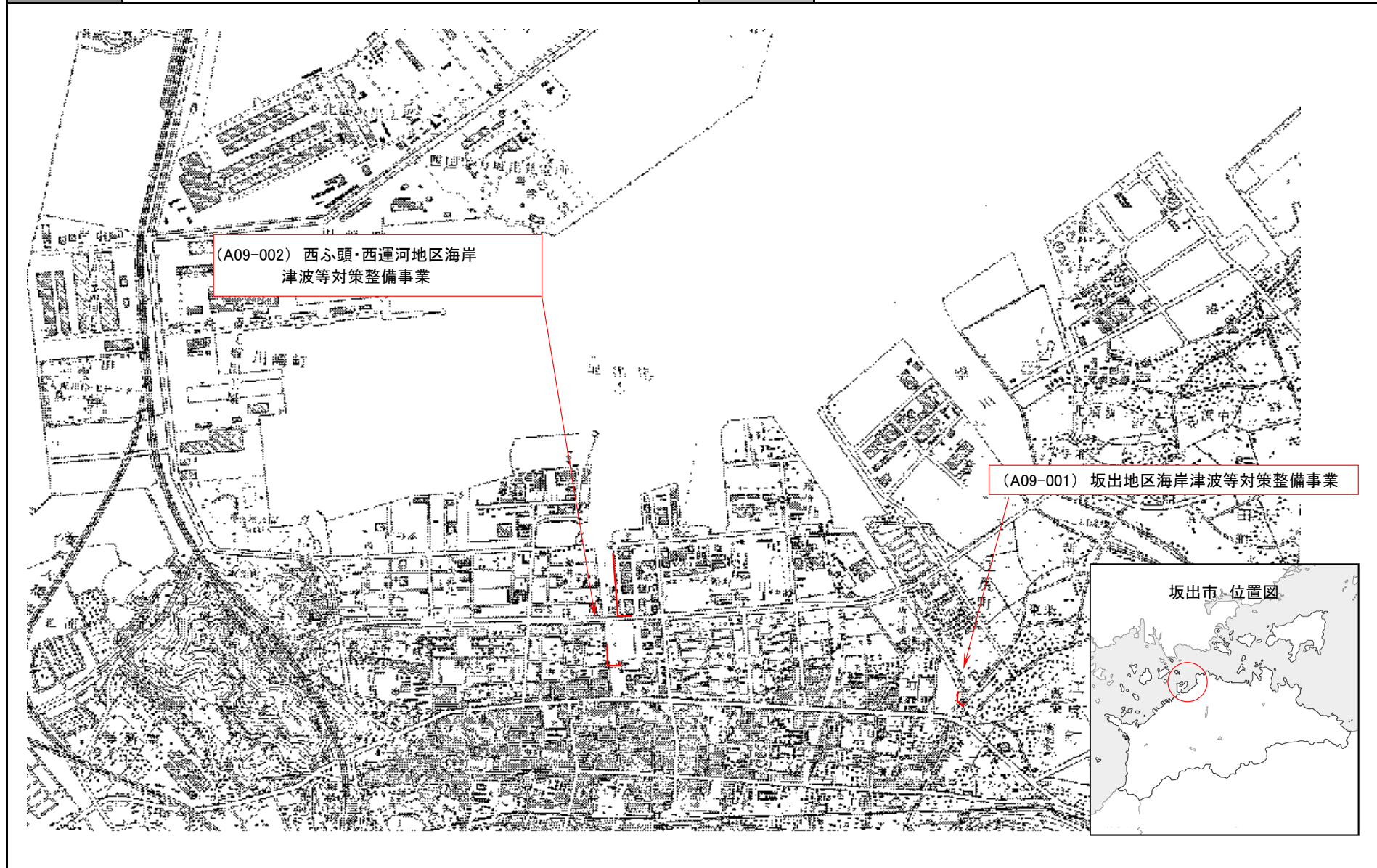
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	15	65	100	50	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	15	65	100	50	
前年度からの繰越額 (d)	20	15	48	99	
支払済額 (e)	20	32	49	113	
翌年度繰越額 (f)	15	48	99	36	
うち未契約繰越額(g)	15	20	95	36	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	42.85	25	64.18	24.16	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	入札不調の結果を踏まえた設計見直しに不測の日数を要したため	関係機関との協議・許認可等に不測の日数を要したため	対策断面の検討に不測の日数を要したため	地元関係者との調整に不測の日数を要したため	

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	1 坂出市における防災・減災対策の推進（防災・安全）	交付対象	坂出市
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）		



事前評価チェックシート

計画の名称： 坂出市における防災・減災対策の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（社会資本整備重点計画、坂出市地域防災計画、海岸保全基本計画、香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえ整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指数・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 3) 事業実施のための環境整備が図られている。	○